

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月19日

大津市長 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市中央区久太郎町2-5-30

氏 名 前田建設工業株式会社 関西支店

常務執行役員支店長 坂口 伸也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6243-2414

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

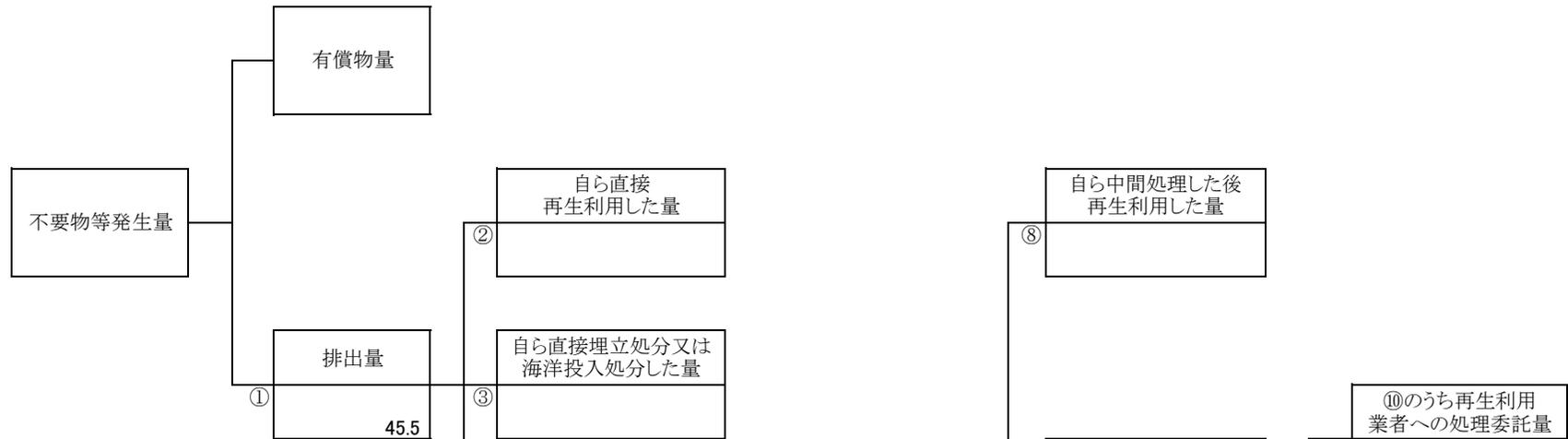
事業場の名称	前田建設工業株式会社関西支店（大津市内作業所）		
事業場の所在地	大津市内		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,088.0 t	全処理委託量	1,088.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	349.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1,088.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

(単位: トン)

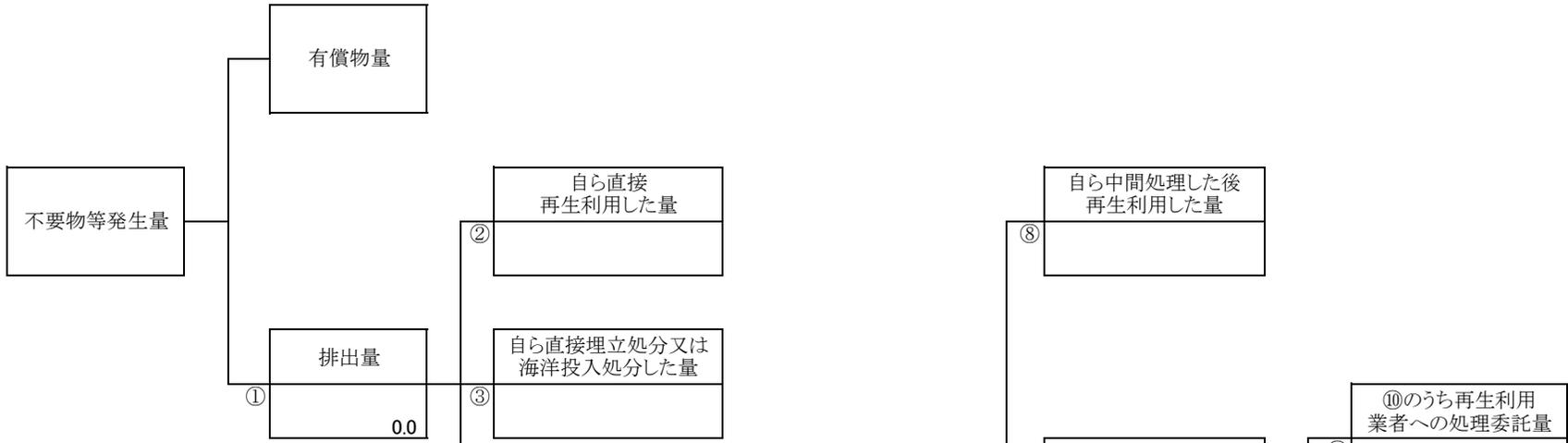


項目	実績値
①排出量	45.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	45.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2
⑫再生利用業者への処理委託量	45.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

(単位: トン)

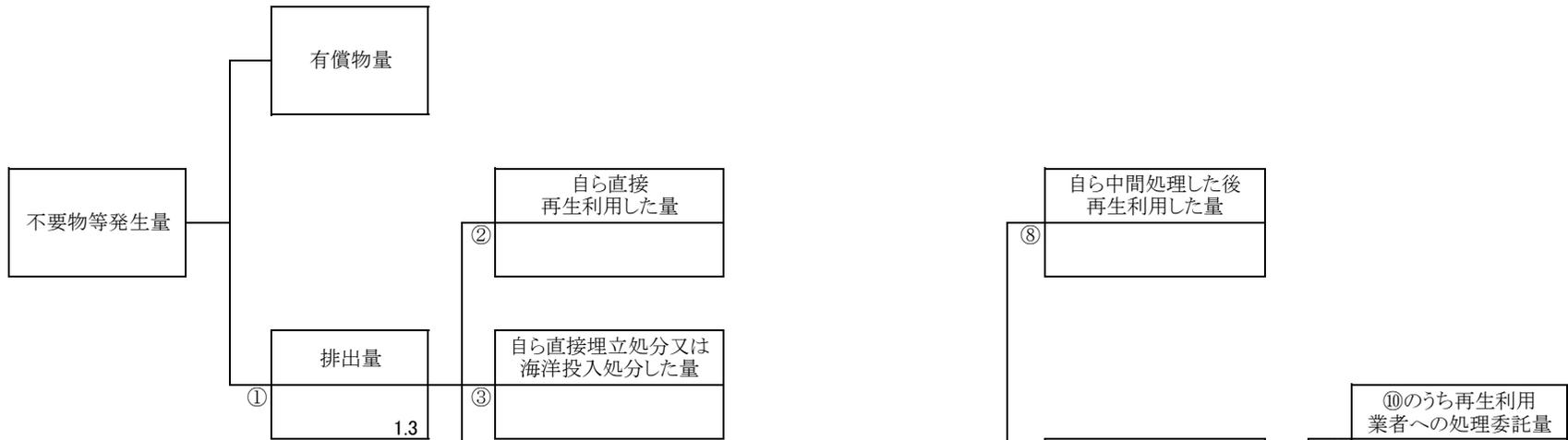


項目	実績値
①排出量	0.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位: トン)

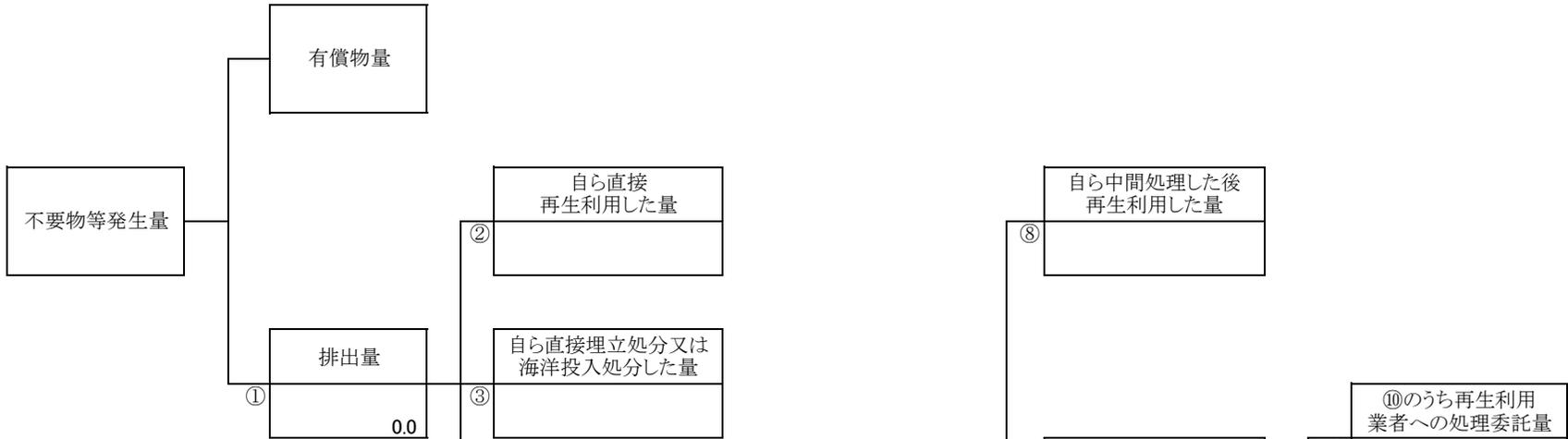


項目	実績値
①排出量	1.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	1.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

(単位: トン)

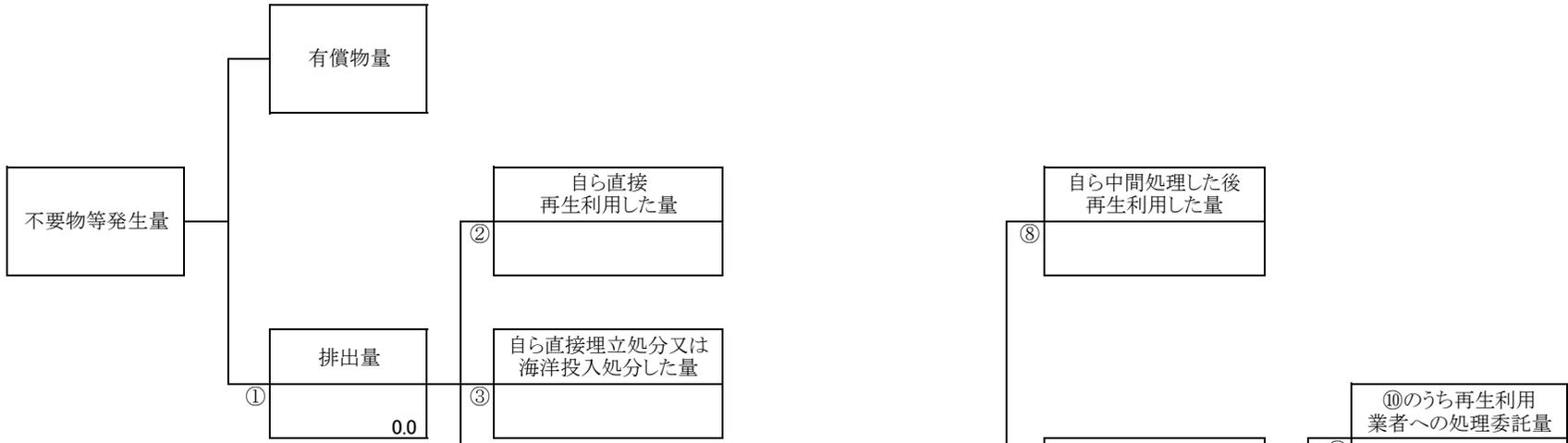


項目	実績値
①排出量	0.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

(単位: トン)

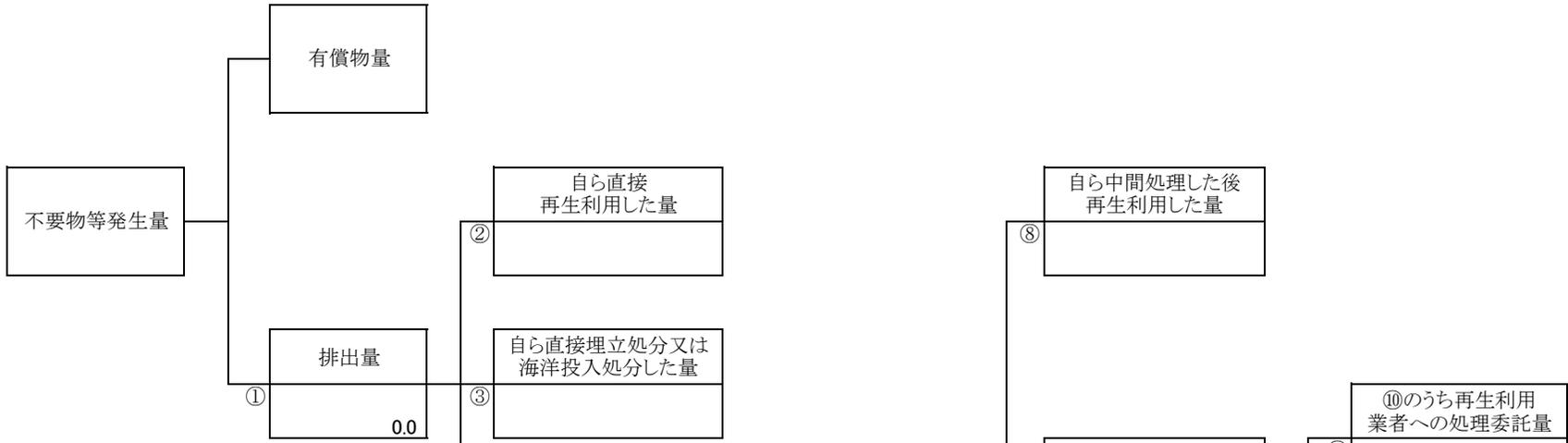


項目	実績値
①排出量	0.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

(単位: トン)

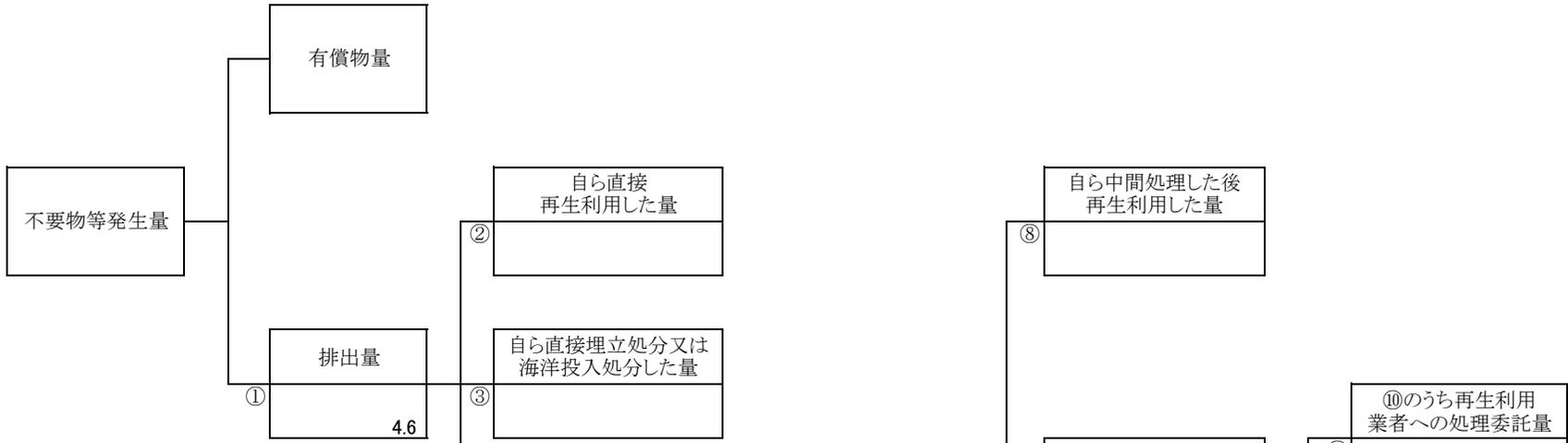


項目	実績値
①排出量	0.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

(単位: トン)

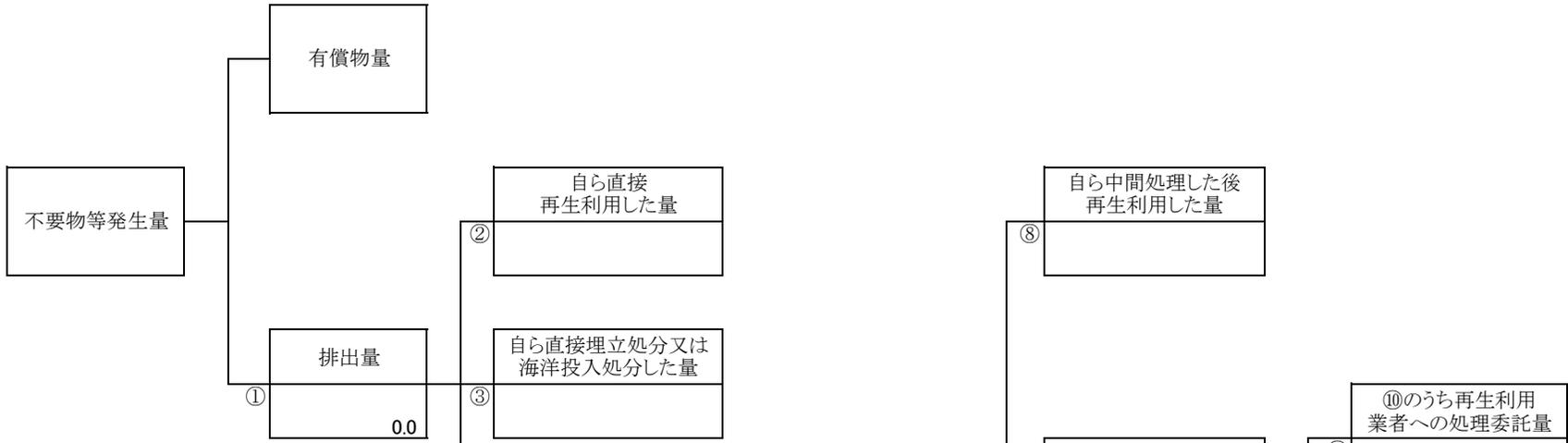


項目	実績値
①排出量	4.6
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	4.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.6
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

(単位: トン)

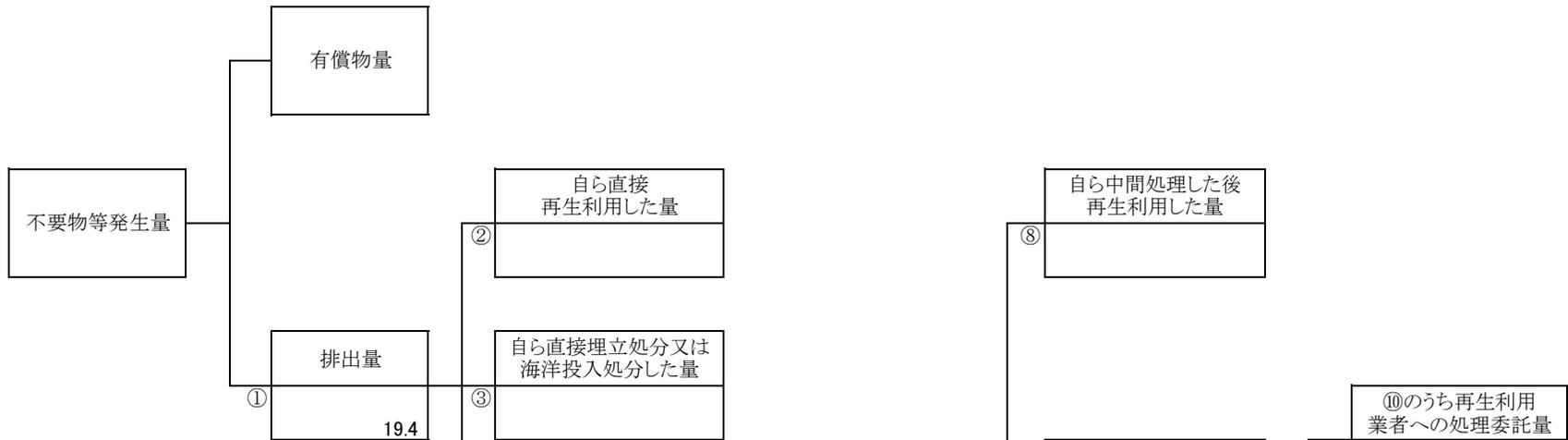


項目	実績値
①排出量	0.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

(単位: トン)



項目	実績値
①排出量	19.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	19.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.7
⑫再生利用業者への処理委託量	19.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

【大津市】集計用シート 実績(令和4年度)

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																②+⑧	③+⑨	
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理し た後の残さ量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理し 自ら埋立処分又は 洋投入処分した量	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分					⑪優良認定処理業 への処理委託量(t)			⑫再生利用 を行った量(t)
⑫再生利用者へ の処理委託量(t)	⑬熱回収認定 業者 への処理委託 量(t)											⑭熱回収認定業 者以外の 熱回収業者への 処理委託量(t)	⑮その他の中 間 処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託						
コード 参照	産業廃棄物の種類	中間処理	最終処分	発生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中 間処理をせず直 接自ら再生利用 した量	①の量のうち、中 間処理をせず自 ら埋立処分又は 海洋投入処分し た量	①の量のうち、自 ら中間処理した 産業廃棄物の当 該中間処理前 の量	④の量のうち熱 回収を行った量	⑥の量から⑤の 量を差し引いた 量	⑧の量のうち、自 ら利用し、又は 他人に売却した 量	⑥の量のうち、自 ら埋立処分及び 海洋投入処分し た量	中間処理及び最終 処分を委託した量	⑫の量のうち、処理 業者への再生利用 委託量(⑬、⑭除 く)	⑯の量のうち、 認定熱回収施設 設置者である 処理業者への焼却 処理委託量	⑮の量のうち、認 定熱回収施設設 置者以外の熱回 収を行っている 処理業者への焼却 処理委託量	⑮の量のうち、 委託して破砕等 の中間処理した 量(⑮～⑰を除 く)	⑯の量のうち、直 接委託して埋立 て最終処分した 量	⑯の量のうち、優 良認定処理業者 への委託処理量	②の量と⑧の 量を合計した もの(自動計 算)	③の量と⑨の 量を合計した もの(自動計 算)
1500	がれき類	45.540		45.540								45.540	45.540					4.220	0.000	0.000
1300	ガラスくず・コンクリー トくず及び陶磁器くず			0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
0600	廃プラスチック類	1.260		1.260								1.260	1.260						0.000	0.000
1200	金属くず			0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
0200	汚泥			0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
0700	紙くず			0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
0800	木くず	4.620		4.620								4.620	4.620					4.620	0.000	0.000
0300	廃油			0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
2000	建設系混合廃棄物	3.640	15.720	19.360								19.360	19.360					15.720	0.000	0.000
				0.000								0.000	0.000						0.000	0.000
合計		55.060	15.720	70.780	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	70.780	70.780	0.000	0.000	0.000	0.000	24.560	0.000	0.000